

## 志賀原子力発電所の基準地震動 $S_s-1$ と告示スペクトルの比較について

志賀原子力発電所の基準地震動 $S_s-1$ の地震動レベルを確認するため、解放基盤表面（EL-10m、せん断波速度1,500m/s）において設定した「耐震設計審査指針の改訂を踏まえた耐震安全性評価における基準地震動 $S_s-1$ （耐震バックチェック時の $S_s-1$ ）」及び「新規制基準における基準地震動 $S_s-1$ （2014年申請時の $S_s-1$ ）」と、平成12年建設省告示第1461号で定められた解放工学的基盤（せん断波速度約400m/s以上）における極めて稀に発生する地震動の加速度応答スペクトル（告示スペクトル）を比較した。比較した加速度応答スペクトル（水平方向）を下図に示す。また、参考に、敷地地盤における岩盤中のEL-10m（GL-31m、せん断波速度1,500m/s）で得られた2024年1月1日16時10分に発生した「令和6年能登半島地震」の観測記録（はぎとり解析前）の加速度応答スペクトルを重ねて示す。

志賀原子力発電所の基準地震動 $S_s-1$ （耐震バックチェック時の $S_s-1$ 及び2014年申請時の $S_s-1$ ）は、告示スペクトルを全周期帯において上回っている。

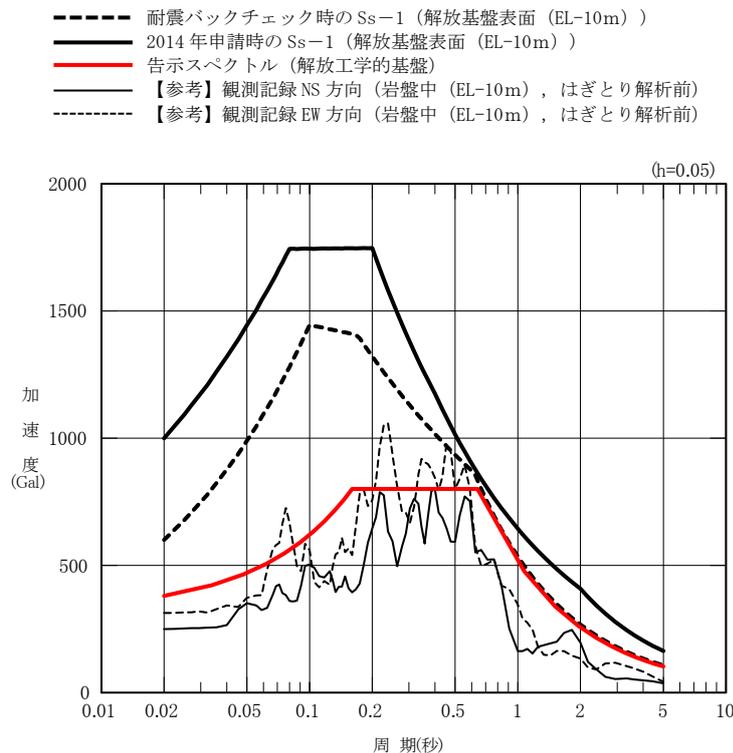


図 加速度応答スペクトル（水平方向）